

資料2 熱海地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題		担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	堤防整備（防潮堤）	県	・渚4工区～マリンスパ間の防潮堤・胸壁整備（継続）(H-1-1)	・横磯防潮堤（サンビーチ背後）のかさ上げ(H-1-2)	・スカイデッキ・レインボーデッキ・渚デッキの耐震対策(H-1-3)	・サンビーチ～マリンスパ間は、T. P. +6. 6mで整備。 ・マリンスパ以南（和田浜南地区）の防潮堤等の整備は実施しない。 （下水処理場は市下水道部局で対応）	
	水門整備						・熱海3河川について、施設効果の高い順に河口部水門の調査・設計を実施（初川から着手）(H-2)
ソフト対策	避難路	熱海市	・避難路の整備（国道135号への階段整備）(S-1-1)				
		県		・横磯防潮堤（サンビーチ背後）海側階段増設(S-1-2)			
		熱海市	・サンデッキ耐震調査(S-1-3)	・サンデッキ耐震補強(S-1-3)（調査結果による）			
		県又は熱海市	・津波浸水想定区域起終点標識設置（緊急時は車両を山側へ誘導）(S-1-4)				
		熱海市	・安全性調査(S-1-4)			・調査結果により、必要な場合は施設所有者に対応を勧告	
	避難路（標示）	熱海市	・避難方向路面標示（モデル施工）(S-2-1)	・避難方向路面標示(S-2-2)（モデル施工の結果による）		・モデル施工により、視認性・耐久性等を確認したうえで、本格導入を検討	
	避難路（照明）	熱海市	・ソーラー式フットライト設置（サンデッキ）(S-3-1) ・ソーラー式フットライト設置（渚歩道橋）(S-3-2) ・ソーラー式フットライト設置（和田浜南 国道135号への階段）(S-3-3)			・ソーラー式照明灯は花火大会開催時等観光の支障となる場合があるため、フットライトの設置とする。	
	避難ビル	熱海市	・建築中ビル追加指定見込(S-4)（糸川右岸（渚町））			・新規開発行為の申請時に、開発者に対し、津波避難ビルへの登録を依頼	
	自宅等建築物の対策	熱海市	・無料耐震診断（昭和56年5月以前建築の木造住宅） ・耐震補強費用の補助			・「TOUKAI-0」による支援	
	情報連絡（事前準備）	熱海市	・避難計画	・津波避難計画作成			
		熱海市	・津波浸水区域・津波避難ビル等の周知	・防災ガイドブック（ハザードマップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		熱海市	・災害弱者対策	・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
情報連絡（発災後）	熱海市	・情報伝達手段の整備	・Jアラート（全国瞬時警報システム）の活用 ・Jアラート緊急割込み放送システム（FM熱海湯河原）の導入 ・緊急速報メール（エリアメール）による情報配信 ・その他情報発信（メールマガジン、ケーブルテレビ、FMラジオ）	・同報無線のデジタル化			
	民間	・安否確認手段の整備	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（熱海市）	